

(第3種郵便物認可)

秀峰生2人模擬国連へ

中沢冬芽君
伊藤河聞君

高校生大会に初出場

松本秀峰中等教育学校（松本市埋橋2）の5年生の中沢冬芽君（17）＝松本市惣社＝と伊藤河聞君（17）＝諏訪市＝が、14、15日、東京都の国連大学で開かれる「第9回全日本高校模擬国連大会」に初出場する。書類選考で選ばれた全国の高校生が各国の大天使となって、国際問題について英語と日本語で議論する大会で、今年は「移民」が議題となる。2人はアフリカ・アルジェリアの大天使として自分たちが考えた政策を訴える。

（片岡 望）

大会は、議題について2人一組で担当国に有益な政策をスピーチし、他國の大天使役の高校生と議論し、交渉する力を競う。初挑戦だ

つた昨年は書類選考を通過できなかつたが、今年は全国203の応募チームから出場80チームに選ばれた。

な問題を抱えるとしてアルジエリアを選び、インターネットで国連化センター（東京都）などが主催する。上位6チームは、来年5月に米国で開かれる国際

大会に出場する。外交官を目指す中沢君は「必ず将来に役立つはず。今後の糧にしたい」と意気込み、伊藤君は「論理的に考える力を身に付ける良い機会。参加者から刺激を受けたい」と話している。



本番に向けて準備する中沢君（右）と伊藤君

大会に出場する。外交官を目指す中沢君は「必ず将来に役立つはず。今後の糧にしたい」と意気込み、伊藤君は「論理的に考える力を身に付ける良い機会。参加者から刺激を受けたい」と話している。